

令和7年度 士幌町立中士幌小学校グランドデザイン

北海道教育の基本理念 「自立」と「共生」

十勝教育推進の重点

- 誰もが自分らしく輝き続ける十勝教育の推進
- 子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育の推進
- 学びの機会を保障し質を高める環境の確立
- 地域と歩む持続可能な教育の実現

十勝はひとつ
—こどもたちをまんなかに—

《学校の教育目標》

よく考える子ども

思いやりのある子ども

がんばり強い子ども

明るく元気な子ども



1904年(M37)
4月26日開校
開校122周年



士幌町学校教育目標
○ 自他を大切にする人
○ ゆめを育てる人
○ 深く考える人
○ 人にためにつくす人
○ 強く生きる人

士幌町教育実践テーマ
「過去を見直し、今を見極め、先を見据える教育」

令和6年度 学校評価・経営ミーティング等から【事実】

- 学習への興味関心があり、賢くなりたいと願っている。
- 運動への関心がありスポーツが得意になりたいと願っている。
- 友達に優しく接し、みんなのために頑張る優しい子が多い。
- 読書は6.5割の児童が「やや不十分」「不十分」を選択している。
- 一部の児童の自己肯定感が低く、自己評価も低い。
- 困っていても自己主張できない場面がある。 など

○ 成果

● 課題

令和6年度 各種調査・チャレンジテストから【根拠】

- 全国学力調査正答率【国語：全国比よりやや高い】
- 児童質問紙「将来の夢」「いじめ絶対ダメ」「人の役に立つ」【100%】
- 新体力テスト【総合評価A～C】
- 全国学力調査正答率【算数：全国・全道より低い】
- 記述式の問題の正答率が低い【国語・算数】
- 新体力テスト【全国比よりやや低い種目：女子20mシャトルラン、女子50m走、女子長座体前屈】

基本方針

「一人一人の児童が、未来に向かって自己を創造する学校」

めざす子ども像

健康で主体的に学び合う子

心豊かな子（徳）⇒挨拶、つながり
かしこい子（知）⇒主体的に学ぶ
たくましい子（心・体）⇒挑戦・失敗からの学び

めざす学校像

子どもをまん中にした学校

子どもが安心して学べる学校
保護者が応援したくなる学校
教職員が働きやすい学校

めざす教師像

児童・保護者から信頼される教師

笑顔・挨拶を大切にする教師
プロの教師（道教員育成指標）
子どもの自発力を育む教師

本年度の重点目標

1 学力の向上【教務部を中心に全職員】

- ① 基礎基本・学習習慣の定着（検定挑戦）
- ② 校内共同研究の充実、授業改善
- ③ ICT（ipad）の効果的活用の推進

※各種調査結果の活用

3 豊かな心の育成【指導部を中心に全職員】

- ① 元気な挨拶・返事、正しい言葉遣いの励行
- ② 心理的安全性のある学級経営
- ③ いじめ・不登校の未然防止、異学年交流

※いじめアンケートの活用

5 特別支援教育の充実【特支教諭を中心に全職員】

- ① 個に応じたきめ細かな指導
- ② 保護者・関係機関との連携
- ③ 専門性を高める校内・校外研修の更なる充実

7 働き方改革【全職員一人一人がウェルビーイングを目指す】

- ① 校務支援システム・ICTの活用推進
- ② 学校行事の更なる精選・重点化
- ③ 年休取得目標、15日以上

「やってみよう」「なんとかなるさ」「ありがとう」
「ありのままに」

2 読書や言語活動を通して読解力・書字力の向上【教務部を中心に全職員】

- ① 読書活動の充実（図書館、町教委連携）
- ② 読む力、書く力の向上
- ③ 図書の利活用（児童の傍に図書）

※学校評価の活用

4 体力の向上【指導部を中心に全職員】

- ① 外遊び・基礎体力の向上、集団遊び
- ② 体育授業の充実
- ③ 系統的な健康教育（生活習慣など）

※新体力テストの結果の活用

6 保護者・地域・関係機関との連携推進【教頭を中心に全職員】

- ① 積極的な情報発信（各種通信、HP）
- ② 価値ある連携・交流授業の促進（保小、小小、複式校、小中、小高）
- ③ CSの推進（見守り隊、地域人材の発掘、出前授業等）CSコーディネーターの活用

※学校評価結果の活用

*ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。（道第4期教育振興基本計画より）

